

タイトル

ゾウリムシは学習するか？

Can paramecia learn?

概要

「パブロフの犬」の連合学習の実験からおよそ1世紀になる。しかし、学習や記憶などの主観的なできごとについての生物学的なしくみはまったく分かっていない。多細胞生物の脳細胞数は非常に多い。そこで、どの細胞に学習で得られた記憶が貯えられているかを調べるのは不可能である。ここでは多細胞生物の祖先であり、多細胞生物の対極にある単細胞生物（ヨツヒメゾウリムシ）を使って、ゾウリムシに知能があるかいないかを調べる。

ヨツヒメゾウリムシ

単一の細胞で生きている個体



遺伝子の数: **約40,000**
(Aury et al. *Nature*, 2006)

多細胞生物の細胞と相同のタンパク質を発現している

URL

産業界への展開例・適用分野

記憶の生物学的なしくみを明らかにすることで、医療の分野において記憶障害などの症例に対する治療法の開発につながる

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職 (学年)
展示担当者	菱岡 宏之	知能情報学	小林研究室	博士1年